

平成31年4月18日
横浜幸銀信用組合

第8回経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置いたしました。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的とし、平成26年12月2日に第一回経営諮問会議を開催、以後半期に一度の周期で「経営諮問会議」を開催しております。

平成31年3月15日（金）、「第8回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1、日 時

平成31年3月15日（金） 16：00～17：10

2、場 所

横浜幸銀信用組合 4階大ホール

3、出席者

（経営諮問委員）<敬称略>

長谷川 勉	（日本大学商学部商業学科 教授）
後 宏治	（公認会計士 税理士）
佐藤 明夫	（弁護士）
川上 陸司	（経営コンサルタント）

（横浜幸銀信用組合）

吳 龍夫	（理事長）
溝江 雅夫	（副理事長）
齋藤 智成	（専務理事）
有川 繁雄	（常務理事）
池野 和己	（常務理事）
金 忠善	（常勤理事）
土井 真一郎	（常勤理事）

平木 幸男	(常勤理事)
松山 真治	(常勤理事)
藤田 敬二	(常勤監事)
石川 俊幸	(常勤監事)

4、吳理事長挨拶要旨

平成31年3月期決算についても良い結果を迎える予定であります。しかし平成31年3月5日から3月14日まで監査機構の監査を受査し、内部管理や規程策定等の指摘も受けております。それらを踏まえ、本経営諮問会議でご指導いただいたことも組合一丸となり、オール横浜幸銀として取り組んでまいりますとの挨拶を行いました。

5、当組合からの説明要旨

- 平成31年9月期仮決算報告

6、意見交換

出席者から以下の意見、ご提言を頂きました。

- 融資に関して今後のバランスをどう取っていくのか、融資ポリシーを持つべき。
- バランスシートを使うビジネスモデルには限界があり、本当の意味でのコンサルタント業務を行うべき。
- 海外より日本へ来て事業を行っている方へのサービス向上も検討すべき。
- 不動産融資についてはお客様の事業体力に応じた形で対応するべき。
- ガバナビリティの発揮の仕方、管理態勢について整備するべき。
- コンサルタント営業は、顧客との信頼関係が前提となり、信頼関係向上のため、提案営業ばかりではなく、雑談力も向上するべき。
- 目標管理よりもプロセス管理に目を向けるべき。

(2) 組合からの回答

本日は貴重なご意見を頂きまして誠にありがとうございました。

本日頂いた貴重なご意見・アドバイスを内部で検討し、内部管理の徹底、取引先への綿密なフォローアップと営業面での情報の集約の徹底、そして、お客様から安心できるとの評価を得られるような組合を目指し、今後の具体的な戦略、施策に繋げて参りたいと存じます。

今後とも委員の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

本日は、長時間に亘り、有難うございました。

以上